

# <心づくりチーム>

## 【児童生徒の実態】

知的な好奇心が高く、学習意欲が高い。興味があることに主体的に取り組むが、集団に対しては関心がやや薄い傾向もみられる。集団との関わりが求められる場面で、協同的に活動に向かう意識、積極的に解決しようとする能力がやや低い。

## 【部会のねらい】

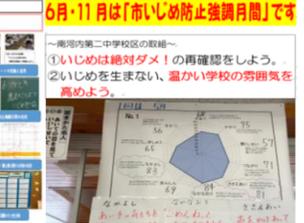
新設から3年目となる「心づくりチーム」は、令和3年度「学級づくりチーム」と「道徳教育チーム」の活動を継承・発展させた部門である。3年目は、「教師用活動デザイン」を通して見える化した取組を、計画的に実践する。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	<B> 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	<p>・心づくりチーム版「教師用活動デザイン」を活用し、見える化した4つの取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市いじめ防止強調月間の推進</li> <li>②学級力向上アンケートの実施と分析</li> <li>③道徳教育における、カリキュラムマネジメントシートの活用〔地域連携、郷土愛〕</li> <li>④読書活動の充実</li> </ol> <p>について、計画的に周知・実践する。</p>
成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>①市いじめ防止強調月間については、9年間の指導の連続性をねらいとして取り組んだ。学区内で統一した、いじめ防止の方針をもとに活動を推進した。「いじめは絶対ダメ！の再確認をしよう」「いじめを生まない温かい学校の雰囲気高めよう」の2つの方針を掲げ実践した。</li> <li>②各校において、学級力アンケートの実施とクラスでの分析を行った。「クラスの良い所を更に伸ばす」の視点での分析・目標設定を行い、温かいクラスの雰囲気をもっと高めていくことができた。</li> <li>③R6は、小学校道徳の教科書改訂に伴う「別葉」の作成を行った。別葉上に、「ふるさと学習に関連する学習は『下野古麻呂』、小中一貫教育(人権、差別、いじめ等)に関する学習は『かんぴくん』マークをつけた。道徳科を中心とした小中のつながりを可視化できた。それを掲示板を利用して共有し、各校での実践に生かした。</li> <li>④各校で、学校図書担当や図書委員会を通じた特色ある取組を行った。特にR6は、「読書ゆうびん」を新たな活動として企画、実施した。中学校1年生が小学校低学年児童に向けて、「おすすめの本」を手紙で紹介し、小学生が「教えてもらった本を読んでみたよ」として返信する内容である。課題であった、小学校低学年と中学生の交流の場の1つとすることができた。</li> </ol>
課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>①市いじめ防止強調月間における各校の特色ある取組を、全職員で共有すること。各校生徒指導主事、児童指導主任が中心となって、職員同士が小中一貫の取組を共有する機会を位置付けていくこと。</li> <li>②アンケート回数と、実施時期の見直しをすること。他のアンケートとの重複による、児童生徒の「アンケートの実施目的の希薄化」が懸念される。「何のためのアンケートなのか？」を明確に実施していくこと。</li> <li>③R7中学校道徳の教科書改訂に伴う、「別葉」の作成。小学校と同様のマークを活用し、同じ様式での可視化を進めること。</li> <li>④特色ある取組を、継続していくための工夫が必要である。年度始めの計画作りと、各校で教員の役割分担を明確にしておくことが欠かせない。また、過去の優れた取組を、小中一貫教育の掲示板を通して、常に共有できるシステムを継続すること。</li> </ol>



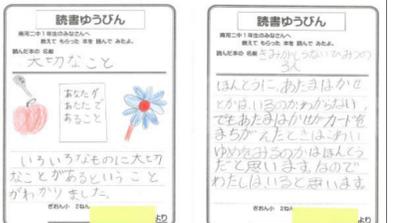
↑ 教師用活動デザインの活用



↑ 学級力向上アンケートの活用



↑ 新しい取組「読書郵便」



↑ 道徳の授業実践と、実践の共有〔地域連携・郷土愛〕

↑ 教科書改訂に伴う、小学校道徳「別葉」の作成と共有 (R7は中学校道徳の教科書改定に伴う、別葉作成を予定)